

広報

2022年
No.377

9/1・15

かみす

Pick up

折込 まなびアイかみす

特集

まちの魅力再発見

木のおもちや

知育玩具がつくる大きな物語

シンプルで愛らしいデザイン、すべすべに磨かれたやさしい木肌の感触。この知育玩具は多くの人に愛され、全国から注文を受けています。製作しているのは、障害者の就労を支援する施設「Kichi-Kuro(きちくろ)」です。名前の由来は、茨城弁の「来てくろ」。きちくろがつくる小さな木の大きな物語を紹介します。

AR

広報かみすが
動き出す



【COCOAR】



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は18ページ

特集

木のおもちゃ

知育玩具がつくる大きな物語



かわいいデザインとやさしい手触り、そしてふんわりとしたヒノキの香りに心癒やされる木工インテリア。今回は多くの人から愛される知育玩具などの木工製品を中心に、障害者就労支援事業所「きちくろ」の取り組みを紹介します。

触れて、遊んで、飾りたくなる！

ヒノキ材で作られた、ゾウさんや野菜、動物シリーズのパズル、節句飾りや干支飾り……。どれもが愛らしく、手に取るとすべすべに磨かれた木肌の感触がやさしくて、指先から木の温もりが伝わってくるようです。間近で見ると驚くほど精巧につくり込まれており、インテリアとして部屋に飾って眺めていたくなるような魅力にあふれています。

これらの木工製品は、一般社団法人オーケー・ファクトリーが運営する障害者就労支援事業所「K i c h i

くろ」でつくられたもの。障害者就労施設の製品は一般に授産品と呼ばれますが、その枠を超え、群を抜くクオリティの高さでたくさんの人に愛されています。「神栖市子育て応援ギフトカタログ」にも掲載されており、知育玩具は地元のパパやママに大好評。電熱ペンで赤ちゃんの名前や誕生日、出生時の体重などを刻印するサービスも喜ばれています。



神栖市子育て応援ギフトカタログでも大好評

障害者就労支援事業所とは？

神栖市では、障害者が自らの能力を発揮して社会参加できるよう、「地域とともに暮らせる安全で安心のあるまちづくり」を基本理念として『神栖市障がい者プラン』を策定しています。その中にさまざまな障害福祉サービスがあり、きちくろは就労移行支援および就労継続支援(B型)を行なう事業所として2015年に活動を開始しました。就労移行支援



解放感のあるスペース。電動糸ノコで作業中



利用者が集う工房「きちくろベース」



ヒノキで作った車型収納ボックスを固定中



かわいい木工インテリア。奥には木工アルファベットが

とは一般企業への就職に向けて作業訓練をするもので、それが困難で支援を受けながら作業訓練や生産活動をするのが就労継続支援(B型)です。市から製品や作業を受注する障害者就労施設は、きちくろを含め市内に10カ所あります。

ちなみに、きちくろという名前は、みんなが集まることができるところにしたいという思いを込めて、茨城弁の「来てくんろ」から命名したとのこと。現在の利用者さん施設に登録し作業訓練を受けている人は19歳から63歳と年齢層が幅広く、1日最大20人が通っています。

木工製品の幅を広げ質を高める

なぜ木工製品をつくり始めたのか、管理者の二本柳英子さんに聞きました。



管理者の二本柳さん

「他の事業所にはない特徴を持ちたいという思いがあつて、たまたまここに道具と材料がそろっていたのでゼロから挑戦することにしたんです。まず木工アルファベットからスタートし、木材を削って出たチップも枕やポプリに詰めて無駄なく活用しました。そこから元保育士のスタッフを中

心に知育玩具へと発展し、製品の種類も増えていきました。私たちが大切にしているのは、幅広い年代に楽しんでいただける製品づくり。知育玩具も子どもらしさを残しつつ、インテリアにもなるシンプルなデザインを心がけています」

苦労したのは、製品の良さをどう伝えるか。委託販売、フリーマーケットや個人作家主催のイベントへの参加、市場リサーチを兼ねたインターネット販売など、さまざまな取り組みを通して徐々に認知され、人気が高まっていきました。

手間をかけて一から手づくり

二本柳さんの案内で工房を見学させてもらいました。開放感のあるおしゃやかな雰囲気、あちこちに制作途中のパーツがあり、おもちゃ箱に迷い込んだような楽しい気分になります。

この日は、電動糸ノコでの成形、やすりがけ、色塗りなどが行なわれていました。誰もが自分の作業に集中し、黙々と手を動かしています。作業訓練という側面から、作業内容や割り当てについては利用者さん一人一人の特性に配慮しているとのこと。



細かな部分まで糸ノコで成形



電動糸ノコで木材を製品の形に切る

工房 きちくろベース 見学



やさしい手触りになるまでやすりをかける



電熱ペンで表情を入れる



丁寧に塗装。製品によってはワックスを塗る

プレーナー(自動カンナ削り機)や丸ノコでの木材の下準備、電熱ペンでの模様入れ、仕上げ、検品、知育玩具のアルコール消毒などはスタッフが行ないます。すべての工程が丁寧な手作業で、手間をかけて一つの製品が出来上がっていることが分かりました。

利用者さんの声

きちくろには、糸ノコ作業で卓越した腕前を發揮する利用者さんがいます。製品づくりの楽しさやきちくろの魅力について、文書で寄せてくれた声を紹介します。

「きちくろで主に糸ノコ作業を中心に活動しています。自閉症は人と視線を合わせて会話のキャッチボールをするのが苦手なので、今回は文章での回答としました。さて、きちくろの魅力ですが、正直、たまたま自分に合っていたというのが本音です。居心地が良く、作業量も自分にちょうどよいのだと思います。

以前のアルバイト先で仕事ができなくて落ち込んでいた私でも、きちくろに入ってから『できることがあるんだ！ 誰かの役に立ってるんだ！』と少し元気が出ました。

木工もたぶん自分に合っていて、

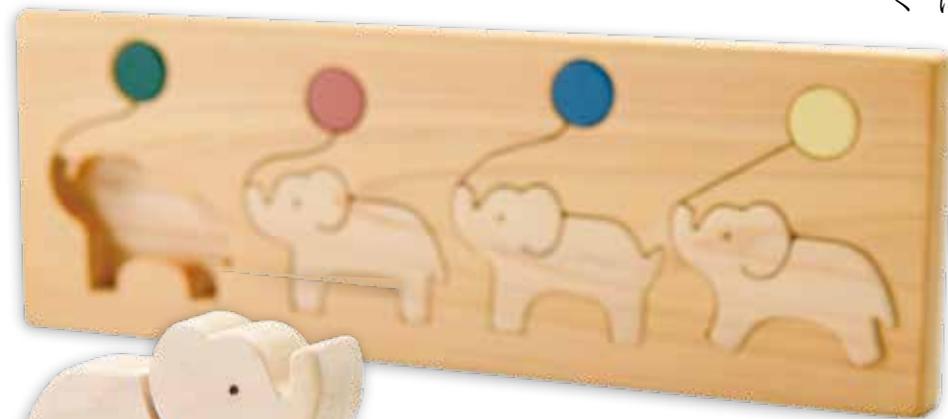
単純なことを黙々とやると落ち着く性質が功を奏したのだと思います。

糸ノコは手遊びの感覚で、何となくできてしまいました。どんなものか切るのか考え出すことはできませんが、要望に忠実に切ることならできます。

何かをつくって誰かに喜んでもらえるのなら、私もうれしいです。これからも喜んでもらえるよう、腕に磨きをかけ、丁寧に作品をつくり続けたいと思っています」

多彩な製品づくりと受託作業

木工製品以外にも、さまざままな製品を手づくりしています。例えば、樹脂粘土でつくったミニチュア食品の数々は、かわいくておいしそうでワクワクする出来栄え。布製品も得意で、がま口、ファスナーポーチ、バッグ、よだれかけなど多彩です。ブルーシートやレジャーシートを使ったバッグは格好よく、汚れたら水でジャブジャブ洗えて実用的。最近では染物製品も手がけており、オリジナルの布地から仕立てた



ヒノキでつくったぞうさんパズル



プレーメンの音楽隊

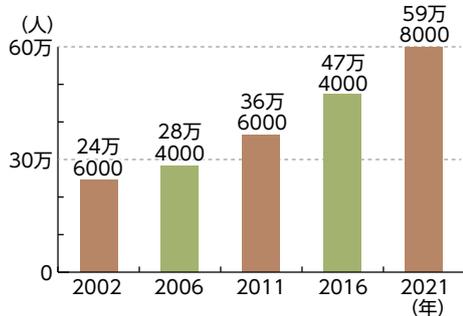


おいしそうなミニチュア食品



オリジナルの布地から仕立てた染物製品

民間企業における障害者の雇用状況の推移
(厚生労働省「令和3年度障害者雇用状況の集計結果」)



製品や、藍染めの木製プレートなども商品化する予定です。
また、ボールペンや化粧品箱の組み立て、ゴム製部品のバリ取りなどの軽作業をはじめ、公共施設の草取りなどの受託作業もしています。
「同じ作業だけを延々と続けるのではなく、チームで作り上げる木工製品づくり、一人でやる軽作業、屋外での作業などいろいろ経験することは、一般企業への就職を考えたときに役立ちます」と二本柳さんは言います。

共に成長していける喜び

スタッフの皆さんはどういう瞬間にやりがいを感じるのか、サービスマanagerの佐久間早香さんに聞きました。
「日々の関わり合いや作業を通して、利用者さんの成長を少しずつ感じることが出来ます。例えば、通える日数が増えたり、時間を延ばすことができたり、できる作業が増えたり。周りの人や本人さえ最初は難しいと思って入ってきても、気付いたらできているということが本当によくあるんです。一人一人の力を引き出すために職員間で話し合い、より良い支援を考えたときは、私たちも力が入ります。そして、他愛のない会話でも楽しみにしている利用者さんだったり、きちくろに通うのが楽しくなったと言ってもらえたりすると、本当にうれしくなります。仕事を通して視野が広がり、自分自身の成長を感じられたときに、この仕事をやって

いてよかったですと感じます」

社会参加とふれあいを広げたい

障害者を取り巻く環境はどのように変化しているのでしょうか。二本柳さんに教えてもらいました。
「2015年の開設当初に比べ、当事業所のような障害者福祉サービスの利用者さんは大幅に増えています。また、2019年に障害者雇用が義務化され、社会参加の道が大きく開かれました。しかしまだまだ多くの課題があり、雇用した企業と障害者の両方が戸惑い、残念ながら退職に至るケースもあります。私たちは就労支援にとどまらず、企業と障害者の間に入って潤滑的な役割を担っていきたいと思っています」

一方、最近では直接足を運んで木工製品をオーダーする市民も少しずつ増えてきたとか。「きちくろの製品を通して、障害者福祉に興味を持っていただけたらうれしいですね」と話す二本柳さん。真の共生社会に向けて、ふれあいの輪が広がっていけば、と願っています。

◎きちくろの製品は、ホームページやインスタグラムでも紹介しています。ぜひご覧ください



こいのぼり



やさしいパズル



2022年寅年バージョン